

明大一台大 認知脳科学・精神科学ジョイントワークショップ開催報告

2014年4月17日

明治大学大学院 理工学研究科 電気工学専攻
認知脳科学研究室 嶋田総太郎・健康医工学研究室 小野弓絵

2014年4月11日から16日にかけて、国立台湾大学医学部精神科の Ming-Hsien Hsieh 講師, Yi-Ting Lin 講師, 長庚記念病院神経内科の Jung-Lung Hsu 助教と国立台湾大学心理学系の2名の大学院生を明治大学生田キャンパスに迎え、明大一台大 認知脳科学・精神科学ジョイントワークショップを開催しました。



本ワークショップは2013年度大学院学内GPとして実施された「国立台湾大学 大学院生のとの研究交流プログラム」における研究交流において、台湾大学の Wen-Sung Lai 准教授より、専門分野の近い理工学研究科の嶋田総太郎准教授へ共同研究の依頼があり実現したものです。11日は健康医工学研究室・認知脳科学研究室内の学生によるラボツアーと研究紹介、翌12日は台湾側研究者らによる研究紹介、14日以降は台湾大学の学生と本学教員らがディスカッションを行いました。ワークショップには両研究室の所属学生のほか、理工学研究科・工藤寛之准教授、向井秀夫専任講師にも御参加頂き、盛会となりました。本年9月には再度、台湾大学の研究者を生田キャンパスに招いての交流プログラムが予定されており、今後一層の研究交流がすすむことが期待されます。



ワークショップにて集合写真(左)とワークショップのプログラム(右)